

認知症に関する活動計画（概要）

和歌山県士会は認知症支援委員会を設置し、人材育成として「認知症ケアに携わる専門職のリハビリテーション研修会」をオンラインにて実施しており、2025年度は1回開催し80名の参加を得た。2026年度も同研修会を企画、オンラインでの開催を予定している。本研修は、認知症支援における「普及啓発」も目的としており、作業療法士のみならず他の専門職、自治体職員等も参加できる内容としている。地域支援としては、認知症支援委員会主催や養成大学と連携しての地域活動、認知症の人と家族の会との連携強化、行政の認知症支援事業への協力を行っている。これらを通して、「地域で活躍できる作業療法士」の育成、認知症支援及び作業療法の啓発活動を行っていく。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

認知症の人と家族の会和歌山県支部と連携し、啓発活動や講演会への派遣、運営協力を行っている。2025年度は、JR和歌山駅前での街頭活動に県士会員を3名派遣。2026年度も街頭活動やアルツハイマーデー記念講演会へ県士会員を派遣する予定である。

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会和歌山県支部には県士会員が3名世話人として所属している。定例会への参加や月1回の交流会、若年性認知症支援、認知症カフェ、アルツハイマーデー記念講演会やライトアップ等の各啓発事業の運営協力を行なっている。2026年度からは、和歌山県支部の広報誌へのコラムの寄稿予定であり、連携強化に努めている。

介護予防事業・日常生活支援総合事業

2025年度の新たな取り組みとして、白浜町において「認知症をまなびつながるまちづくりの会」とした認知症予防及び居場所作りの取り組みを3回実施、計23名の参加を得た。「和歌山市認知症初期集中支援チーム検討会」に1名（1回）、県の認知症予防施策に10名（9回）、認知症サポーター養成講座に3名（11回）県士会員を派遣した。橋本市認知症支援検討推進検討会に士会員が委員として参加、認知症支援推進基本計画の策定に関わっている。2026年度も継続し、引き続き市区町村や地域住民との連携、地域支援をすすめる。

白浜町での地域支援活動の様子



作成した作品